



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03)3271-2181
URL:https://www.t-namakyo.jp/
発行責任者 高村 尚

＝協組の動き＝

- (5月)
9日(月) 理事会(No. 1170)
23日(月) 通常総会(第46回)
30日(月) 理事会(No. 1171)
- (6月)
13日(月) 理事会(No. 1172)
27日(月) 理事会(No. 1173)



人事異動

【離職】

日付	部署	氏名
4月30日	営業部	富士谷 理英

【就労】

日付	部署	氏名
4月18日	営業部	鳥海 咲子

単位水量推定試験の動画を収録・配信へ

近年、建設現場で生コンクリート受入時に単位水量推定試験が行われ、スランプや空気量が合格しているにもかかわらず、単位水量推定値のみ基準を外れる事例が多く発生しています。この場合、単位水量推定試験の結果だけで「不合格」と判断され、工場に持ち帰って廃棄処理しており、生コン工場では廃棄物処理費の増加に苦慮しています。

そこで、本当に単位水量が外れたコンクリートはどの様なスランプや空気量を示すのか、単位水量推定試験と併せて実施・比較することにしました。対象としたコンクリートは、①土木配合：24-12-20N(AE 減水剤使用)、②建築配合：33-18-20N(高性能 AE 減水剤使用)の2水準とし、それぞれ単位水量のみを±15kg/m³変化させて行いました。

試験練りは、3月16日(水)に城北小野田レミコン(株)の試験室で、15社21名の協力を得て実施しました。試験の結果は下表の通りです。

本結果を見ると、コンクリートの単位水量が実際に変動することで、スランプは許容範囲を超えて不合格品になることが確認できました。

技術部では、本試験をビデオカメラやデジタルカメラで撮影しており、東京都生コンクリート工業組合の協賛を得てこれを編集し、ビデオ公開することと致しました。ビデオは、土木編と建築編に分けて作成しており、当協組HPやYouTubeで公開する予定です。

単位水量推定試験結果

	土木配合24-12-20N			建築配合：33-18-20N		
	スランプ (cm)	空気量 (%)	推定単位水 量(kg/m ³)※	スランプ (cm)	空気量 (%)	推定単位水 量(kg/m ³)※
W-15kg/m ³	4.5	4.7	-13	8.5	4.5	-21
標準配合	12	5.1	-3	18	4.8	-3
W+15kg/m ³	17	4	11	24.5	1.2	31
管理値※※	±2.5	±1.5	±20	±2.5	±1.5	±20

※単位水量推定試験：エアメータ法。

※※推定単位水量は、国土交通省通知の持ち帰り基準。その他は、JIS A 5308。

この映像が、生コンクリートの持ち帰り削減に少しでも役に立てばと考えています。



「圧縮強度試験の遠隔臨場」 4/1 よりスタート

「圧縮強度試験の遠隔臨場」は、販売店担当者が Microsoft 社の Teams を使用してインターネットを通して立会者と生コン工場を繋ぎ、オンタイムで圧縮強度試験状況を立会者にご覧頂くシステムです。

技術部では販売店担当者に対し、3月30日(水)に「圧縮強度試験の遠隔臨場」運用に関する説明会を Teams による Web で開催し、現場から要請があった際の対応手順について説明しました。

当協組の生コン工場はほとんどの工場で実施可能であり、4月1日より正式に運用を開始いたしました。

より詳しい内容をお知りになりたい方は、登録販売店、又は、技術部までお問い合わせください。

建設・コンクリートに感謝!

一ツ木 正



4月開催の臨時総会で理事に就任いたしました株式会社東京菱光コンクリートの一ツ木正です。

足元では新型感染症、為替変動、国際紛争、地球温暖化対応等に起因しあらゆるコストが暴騰しており、未曾有の事業環境に置かれる中で、理事就任となり、併せて副理事長の重責を担うこととなりました。微力ながら、様々な問題への対応や解決に向け、努めて参りますので宜しくお願いします。

簡単に自己紹介をさせて戴きます。生まれは茨城県の県西部に位置する結城市です。見た目が濃いらしく「出身は熊本ですか、鹿児島ですか、沖縄ですか」と良く言われるのですが生粋の関東人です(のはずです)。

名前は簡単な字面ですが珍しい方だと思います。これまで同じ苗字の方と名刺交換することはありませんでした。読み方は「ひとつぎ」です。呼ばれ方が次第に「ひとつぎ?いつぎ?いちぎ?いちのき?」に変わっていくことが多く、ゴルフ場では何故かア行の位置にキャディバッグが置かれる確率が高くちょっとがっかりしています。

学生時代はバリバリの体育会で4年間ボートを漕いでいました。「鍛えれば脳みそも筋肉になる」を合言葉に年間300日ほど合宿生活をして

おりました。体力には自信はありますが学業の方はほどほどということでご理解願います。

1984年に会社人生がスタートし、東京周辺に27年勤務後、名古屋、大阪、福岡の勤務を経て東京に舞い戻り、この4月1日より東京菱光社の社長に就任いたしました。福岡時代に、販売店と生コン社の経営に3年ほど携わった経験はありますが、東京地区は有数の大市場であり市場環境も異なりますので、一から勉強のし直しです。

当業界については、感謝の一言です。忘れもしない熊本地震!震度7。震源地に近い熊本駅前のホテルに滞在中、いきなりドーンときてひたすら振り回され、部屋の形は歪み、備え付けのテレビが飛び、備品も散乱、この世ともお別れかと覚悟しました。が幸いにして傷一つ負わず無事でした。熊本地震は翌日深夜に更に震度7が発生し大変な思いをされた方も多かったと思いますが、日本の建設技術、コンクリート技術にひたすら感謝した次第です。近年想定を軽々超える自然災害も頻発しています。国土を守り、生活を守るこの産業をきちんとした形で後世につないでいかなければならないと改めて思うこの頃です。

((株)東京菱光コンクリート
代表取締役)

		(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
		4月(実績)	5月(想定)	4月(実績)	
		前年比	前年実績比	前年比	
大型	232,078 m ³	128.2%	220,000 m ³	133.5%	引合 39,589 m ³ 14.3%
小型	33,341 m ³	118.5%	30,000 m ³	110.5%	成約 33,009 m ³ 14.6%
計	265,419 m ³	126.9%	250,000 m ³	130.2%	契残 5,940,389 m ³ 161.1%

東京生協ニュース：まど

働き方改革ワーキング 「週休 2 日制分科会」報告

当協組では、2019 年 4 月に働き方改革ワーキングを発足させ、週休 2 日制導入への取り組みを開始し、組合員各社や施工者側への実態調査の結果を踏まえ、工事現場における「2021 年度末までに 4 週 8 閉所」の基本計画の実行を前提として、2021 年度中の導入開始を目標とする基本計画を策定しました。

その後、周辺各協組との協議を行い、PR 実施内容・方法等の検討準備を進めて参りました。

しかしながら、2021 年度における施工者側の週休 2 日制導入に関する取り組みの進展状況を確認した結果、「4 週 8 閉所」実施工事現場の実績は、土木工事を主体とする公共工事発注者においては週休 2 日確保に向けて配慮する取り組みが広がっているものの、建築工事を主体とする民間工事発注者においては取り組みが広まっていない状況に在るものと判断致しました。

本状況を踏まえ、当協組としての今後の取り進めについて、本年 3 月 14 日に開催した理事会において以下のとおり報告が為されました。

1、導入開始予定時期 「2024 年 4 月

- ① 出荷動向
- ② 大幅な値上げ実施
- ③ 値上げを控えた契残大幅増加に伴う旧契価格の引上げ
- ④ 安定供給確保のための車輛不足対策

引き続き西森副理事長より①当協組の現状説明、②市況対策の取り組み状況等についての具体的な説明を行い、旧契価格の引上げを含めた 6 月 1 日引合受付分以降の 3,000 円/㎡の値上げ実施に向けた各種の施策に関する理解を求めました。

説明終了後、報道各社から活発な質問が寄せられ、丁寧にお答えをして本件実施がコストアップの価格転嫁のみならず、当業界各社の企業活動持続に不可欠な命題であることをご理解頂きました。

尚、前回の懇談会に引き続き、今回も建設物価・経済両調査会にも傍聴出席をして頂きました。

新任副理事長(2名) 選任他紹介

当協組組合員代表者交代による副理事長 2 名辞任に伴い、4 月 11 日に開催された理事会において新たに 2 名

- 1 日以降を目途とする。」
 - 2、今後の要検討実施内容
 - (1)関係各方面へのヒアリング・協議(日建連、周辺各協組、卸協組)
 - (2)組合員への実態調査(組合員の意向、改正労働法への対応状況等)
 - (3)協組休暇日の範囲確定
 - (4)土曜休日出荷対応の場合の割増料金の考え方
- これらの検討実施結果を踏まえ、改めて導入に向けた PR 実施内容・方法を取り決めることとし、本ワーキングの分科会の活動期間を 2024 年 3 月末まで延長して取り組みを継続することと致しました。

の副理事長が選任されました。

【辞任】

- ・田中 義克 氏(関東宇部コンクリート工業株式会社)
- ・水野 達郎 氏(株式会社東京菱光コンクリート)

【選任】

- ・一ツ木 正 氏(株式会社東京菱光コンクリート)
- ・嶋津 成昭 氏(関東宇部コンクリート工業株式会社)

また、本理事会に先立ち開催された臨時総会において、藤嶽 暢成(ふじたけのぶしげ)氏(関東宇部コンクリート工業(株))が新たに理事に選任されております。

「山王祭」

6月10日(金)～12日(日)に赤坂日枝神社の「山王祭」が行われます。徳川幕府の庇護を受けた同社の氏子地区は赤坂はもとより麴町、九段、日本橋、京橋、銀座等を含む広大な範囲で、その祭りは江戸時代から日本三大祭りの一つとされています。残念ながら今回はコロナ禍のため神輿担ぎはありませんが、早く日常を取り戻せるようにとの願いを込めて弓張提灯の飾りつけをします。当協組の提灯も飾り付けされますので、興味のある方は中央通りを挟んで反対側の D I C ビル前に設置される御飯屋・御神酒所を訪れてみて下さい。



わが社の安全対策

関東宇部コンクリート 工業株式会社

弊社は安全文化の 8 軸モデルに基づいて、安全対策を行っています。

- 1.組織統率 本社には中央環境安全委員会、8工場にも工場委員会を設置しています。中央委員会では、各工場の環境安全管理計画及び実績を確認・評価します。工場委員会では指摘事項改善進捗状況、環境安全衛生教育、ヒヤリハット報告、危険予知訓練(KYT)、グループ災害事例分析、従業員意見交換などを行っています。
- 2.積極関与 経営トップ、他工場メンバーが1回/月工場間相互査察に参加し、違う目線でハザードをチェックし、良い点を水平展開で全社員に共有します。
- 3.相互理解 環境安全室は各工場1回/月安全パトロールを実施します。パトロール時は工場担当者同行で実作業を確認し、意見交換をします。工場委員会で指摘事項を議論し、改善方法を確立します。
- 4.危険認識 パトロールにより危険箇所をピックアップし、工場側がリスクを評価します。又、毎月実作業に基づくKYTで安全感性の向上を図ります。
- 5.学習伝承 新入社員は、ベテラン社員が教育係として、マンツーマンのOJT教育、管理者層には職長再教育等を行っています。なお、全社員

に必要な資格を取得するよう奨励しています。

- 6.作業管理 作業を安全に行うには、十分なリスク評価を実施し、適切な対策を網羅した作業手順書は不可欠です。2016 年度以後、2 件以上/年・工場をノルマとし、これまで新規作業手順書 67 件、他工場へ水平展開した作業手順書 56 件完成しました。
- 7.資源管理 危険個所の改善については、危険度・優先順位・予算等を総合的に考慮し、適正なマネジメントに基づき行います。例えば、気温が暑くなる前に、熱中症教育、空調服・夏用ヘルメットの配布、プラント内休憩所の設置等対策を実施しています。又、ミキサー車洗車時転落防止対策として、全工場洗車場に安全ブロックを設置しました。
- 8.動機づけ 職場満足度を高めるために、毎年、全社員対象に社内環境安全スローガン・安全標語を募集し、受賞者には賞金を贈呈し、無事故工場には労働災害無事故表彰(金一封)を行います。



「安全」は私たちにとって永遠のテーマで、今後も「安全は全てに優先する」を念頭に、環境安全の面でも業界の模範となる会社を目指したいと思っております。

ご安全に!